

科目名	法思想史 A
開設大学名	朝日大学
講師	朝日大学法学部 教授 岡寄 修 (おかざき おさむ)
初回予定日	2017年4月10日(月)
授業時間	毎週月曜日 2時限目(10:45-12:15)
主会場	朝日大学 6号館 6813
聴講方法	対面授業
科目内容	民法に見られる各種規定も、近代化へのプロセスの中から19世紀に生じたものである点に注目すれば、法思想史は決して過ぎ去った昔話をするための講座ではありません。現代の法の規定が、社会の変化に伴ってどのようにして誕生したのかを理解するうえで、法思想史の知識は欠かせないものです。この講座では、歴史上の変化を政治と経済面から振り返り、近代化と個人主義化との間には密接な関係があることを示します。
注意事項	高校生は受講できません。 教科書は指定せず、資料の引用を含む自前のプリントを配布して講義を進めます。 [参考書] ジョン・デューイ/清水訳『哲学の改造』(岩波文庫) / ジェイコブ・プロノフスキー『科学とは何か』(みすず) / ロバート・ハイルブローナー/八木他訳『入門経済思想史』(筑摩学芸文庫) / 他は講義と資料を通じて指示します。

当初の予定と異なる曜日に授業がある場合は、授業開始後にお知らせするか、WEB上で受講希望者に周知します。

第1回	4/10(月)	法思想史はどのような学問か：オリエンテーション
第2回	4/17(月)	ありのままにものを見ているか？(認識論の基礎1)
第3回	4/24(月)	個人主義は利己主義とは違う(認識論の基礎2)
第4回	5/1(月)	封建社会での労働は「ご奉仕」(身分社会とは1)
第5回	5/8(月)	慣習法の支配：一存での決定を阻むもの(身分社会とは2)
第6回	5/15(月)	奉仕から財産へ：労働の意味の変化(近代化とは1)
第7回	5/22(月)	「主人」と「奉公人」：身分社会での責任のありか(近代化とは2)
第8回	5/29(月)	まとめと小テスト
第9回	6/5(月)	近代以前の取引風景(ビジネスの近代1)
第10回	6/12(月)	私益の追求を認めた近代社会(ビジネスの近代2)
第11回	6/19(月)	社会契約論と市民社会(「身分」から「契約」へ1)
第12回	6/26(月)	契約社会とはどのような社会か(「身分」から「契約」へ2)
第13回	7/3(月)	「レッセ・フェール」と立身出世：身分の支配が消えた証(自由と自律1)
第14回	7/10(月)	競争する自由(自由と自律2)
第15回	7/24(月)	共同体主義と父権主義(日本の社会分析)